

## <第4議案>

### 2016年度収支予算（案）

14ページに2016年度収支予算案を示す。

#### <全体説明>

代表、常勤スタッフ2人（1人は年度途中から）の計3人体制を早期に達成することを前提に、すべての収入科目について新規開拓を含めた増額目標を設定するとともに、費用の見直しを行い、単年度で収支均衡予算とした。

#### 1. 会費収入について

15年度予算と同等の水準を見込む。15年度決算額に比して約147万円の増額になる。これは、15年度決算額が平年に比して少ない金額となったことによる。

#### 2. 事業収入・支出について

事業収入は15年度決算比約226万円の増額、事業費用は約68万円の増額を見込む。

- ・15年度に見送った「イアブック」を発行して収入160万円、費用80万円で、80万円の正味収益を見込む。
- ・「講演・執筆・出演」収入は50万円を見込む。
- ・「情報サービス・調査受託」収入として、15年決算比60万円増の150万円を見込む。
- ・5月にジュネーブで開催される「公開作業部会」（OEWG）への派遣費用として30万円を見込む。「海外派遣寄付金」を募る。

#### 3. 寄付金収入について

一般寄付金は夏季、冬季を含めて180万円を目標に設定し「寄付キャンペーン」を実施する。

#### 4. 助成金収入について

調査研究プロジェクトなどの新規申請によって、100万円を確保することを目指す。

#### 5. 管理費について

- ・人員体制は代表と常勤スタッフ2人（1人は年度途中から）の3人体制とし、「給料・手当」、「法定福利費」、「福利厚生費」などの所要額と役員報酬（60万円）を見込む。
- ・「協力研究員」1人分の支出として36万円を見込む。財源として「将来計画資金会計」から同額を繰り入れる。
- ・その他費用は15年度決算額を基準とし、所要の調整のうえ積算した。

——以上